

その他の職種における研究

- ・短時間作用型 β ブロッカーを使用した冠動脈 CT 検査における希釈 TI 法と TBT 法の比較 (26-09)

短時間作用型 β ブロッカーを使用した冠動脈 CT 検査における希釈 TI 法と TBT 法の比較

1: 対象

2020 年 1 月以降に冠動脈 CT 検査を受けられた患者さんを対象に行います。

2: 目的

冠動脈 CT 検査では最適な撮影タイミングを得るために種々の造影法が利用されており、その中でも希釈 TI 法は撮影タイミングに加え造影効果補正が可能な造影法として有用性が報告されています。希釈 TI 法は造影剤を 2 回に分けて注入する必要があり、インターバルの間に短半減期 β ブロッカーであるランジオロール塩酸塩を用いた心拍数コントロールが、撮影タイミングや造影効果に及ぼす影響についての報告はありません。循環動態変化の影響が低いと考えられている TBT 法と比較し評価します。

3: 研究に用いる試料、情報の種類

本研究は診療情報を収集する後ろ向き観察研究です。日常診療の範囲内での診療情報(年齢、性別、身長、体重、既往歴)や CT 画像データ、検査時心拍数データを使用します。

4: 研究期間

2027 年 12 月 31 日まで

5: 収集した情報の公表

収集した情報は匿名化し、患者さん個人を特定できないように保存します。また研究成果を学会や学術誌に発表する予定ですが、これにより患者さんの個人情報外部に流出することはありません。

6: 連絡、問い合わせ先

この研究に関する問い合わせは下記までお願いします。本研究の対象となることに同意されない場合はお申し出ください。不同意による診療上の不利益はありません。

三菱京都病院 診療技術部 放射線技術科 瀬戸 一誠

〒615-8087 京都市西京区桂御所町 1 番地 電話 075-381-2111(代)